

も							も						
散布時期	適用病害虫	薬剤名 (水100ℓ当薬量)	10a当り散布薬量	使用時期・回数	注 意 事 項								
3月中旬 (発芽前) (月 日)	カイガラムシ類 ハダニ類 縮葉病	水 (98ℓ)	350ℓ SSIは 300ℓ以上	発芽前 7日前・5回 14日前・3回	1. 縮葉病は発芽後の散布は効果が劣るので発芽前に必ず散布する。 2. カイガラムシの発生が多くなっているので、アブロードフロアブルを加用する。 3. 前年せん孔細菌病の発生が多かった園では、伝染源となる春型枝病斑の早期発見、せん除を徹底する。								
		スプレーオイル 50倍 (2ℓ)											
		チオノックフロアブル 500倍 (200cc) アブロードフロアブル 1,000倍 (100cc)											
開花前 (月 日)	縮葉病 せん孔細菌病 葉面散布材	展着剤	350ℓ SSIは 300ℓ以上	開花前・3回	1. 前年炭そ病、せん孔細菌病の発生の多かった園です。 ●ニューライパー花実技は強力アミノ酸液で、特にプロリンを多く含む花の栄養材です。500倍を散布します。								
		銅シン水水和剤 500倍 (200g)											
		ニューライパー花実技 500倍 (200cc)											
5月上旬 (落花直後) (月 日)	灰星病 黒星病 ハマキムシ類、コスカシバ	展着剤	300ℓ SSIは 250ℓ以上	前日・3回 21日前・5回 前日・2回	1. モモハモグリガ、アブラムシの発生が多い園では、アルバリン顆粒水溶剤2000倍 (50g) を散布する。 2. 近年うどんこ病の発生が見られるようになっており、発生があった場合はコナケシ顆粒水和剤4,000倍 (25g) を単剤散布する。								
		スコア顆粒水和剤 2,000倍 (50g) マイコシールド 2,000倍 (50g) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)											
		ニューライパー花実技 500倍 (200cc)											
5月中旬 (月 日)	せん孔細菌病 縮葉病 黒星病 アブラムシ類 モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	7日前・5回 60日前・2回 前日・3回	1. アクタラ顆粒水溶剤にかえて、モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) を使用してもよい。								
		チオノックフロアブル 500倍 (200cc) アグレプト水和剤 1,500倍 (66g) アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)											
ウメシロカイガラムシの重点防除	5月下旬 (月 日)	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病 せん孔細菌病 アブラムシ類 クロコナカイガラムシ ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	400ℓ SSIは 300ℓ以上	7日前・4回 21日前・5回 21日前・3回 14日前・3回	1. カイガラムシが多い園ではアブロードフロアブルを更に加用する。枝幹にも丁寧に散布する。 ●せん孔細菌病に注意 特に風が強い場所や、例年発生が多い場所では、葉や果実に病斑が発生しているかどうかよく確認する。								
		展着剤 デランフロアブル 600倍 (166cc) マイコシールド 2,000倍 (50g) サイアノックス水和剤 1,000倍 (100g) アブロードフロアブル 1,000倍 (100cc)											
6月上旬 (月 日)	せん孔細菌病 縮葉病 黒星病 アブラムシ類 カメムシ類 モモハダニ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	7日前・5回 21日前・5回 7日前・3回 前日・1回	●せん孔細菌病に注意 特に風が強い場所や、例年発生が多い場所では、葉や果実に病斑が発生しているかどうかよく確認する。								
		チオノックフロアブル 500倍 (200cc) マイコシールド 2,000倍 (50g) バイスロイドEW 2,000倍 (50cc) ダニコングフロアブル 2,000倍 (50cc)											
6月中旬～下旬 (袋かけ直後) (月 日)	せん孔細菌病 縮葉病 黒星病 アブラムシ類 モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・2回 7日前・3回	1. 芯折れ(ナシヒメシンクイ)の見られるところでは見つけ次第摘除する。 2. カイガラムシの発生が多い園地ではモメントフロアブル2,000倍 (50cc) を加用し、かけムラのないよう丁寧に散布する。								
		フルーツセイバー 1,500倍 (66cc) ヨーバルフロアブル 5,000倍 (20cc) モメントフロアブル 2,000倍 (50cc)											
7月上旬 (月 日)	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病 モハダニ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・2回	1. 早生種、中生種は、今回以降、収穫日数を確認の上、使用時期、回数に注意して使用する。 2. ベルコート水和剤は、缶桃14号に葉害の恐れがあるので、オンリーワンフロアブル2000倍を使用する。								
		ベルコート水和剤 1,000倍 (100g) テルスターフロアブル 3,000倍 (33cc)											
灰星病の重点防除	7月中旬 (月 日)	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・3回 7日前・1回	1. シンクイ虫の被害が近年多くみられるので、収穫中でも農薬散布の期間をあげないで散布する。 2. ウメシロカイガラムシの第2回目の防除適期は8月中旬です。(トランスフォーム2,000倍)								
		スクレアフロアブル 2,000倍 (50cc) アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc)											
		展着剤 ミギワ20フロアブル 4,000倍 (25cc) エクシレルSE 2,500倍 (40cc)											
8月上旬 (月 日)	灰星病 アブラムシ類 クワコナカイガラムシ ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・2回 前日・1回	1. シンクイ虫の被害が近年多くみられるので、収穫中でも農薬散布の期間をあげないで散布する。 2. ウメシロカイガラムシの第2回目の防除適期は8月中旬です。(トランスフォーム2,000倍)								
		ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g) ディアナWDG 1万倍 (100g) マイトコーネフロアブル 1,000倍 (100cc)											
収穫前 (月 日)	灰星病 アブラムシ類 ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・2回 前日・3回	1. とり残した空袋や結束縄、灰星病の被害果などは集めて焼却する。 2. 収穫後、モモハモグリガの発生が多い傾向にあります。収穫が終わった園地でも防除してください。(早期落葉の原因になります)								
		パスワード顆粒水和剤 1,000倍 (100g) アーデントフロアブル 2,000倍 (50cc)											
収穫後 (9月中旬) (月 日)	モモハモグリガ ウメシロカイガラムシ ナシヒメシンクイ モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	21日前・3回	1. せん孔細菌病の発生が多かった園では、収穫後2週間おきに2回以上散布する。 ●2. ICボルドー412に変え、以下の薬剤も散布できる。								
		サイアノックス水和剤 1,000倍 (100g) ニューライパー花実技 500倍 (200cc)											
せん孔細菌病対策 9月中旬～10月中旬 (月 日)	せん孔細菌病	展着剤	ICボルドー412 30倍 (3.3kg)	※上記の薬剤を散布する際は、アブロン100倍(200g)を加用する。									
コスカシバ対策 10月中・下旬 (月 日)	コスカシバ	展着剤	トラサイドA乳剤 200倍 (500cc)	1. 枝幹に散布する。 2. 捕殺する。									

せん孔細菌病対策

前年せん孔細菌病の発生が多かった場合、クプロシールド1,000倍(100m)を開花前～5月の間に散布する。
(注意)
◎展葉後は葉に葉害が発生するので、炭酸カルシウム水和剤のクレフノン100倍(1kg)を加用することで、葉害リスクを軽減できる。
◎炭酸カルシウム水和剤を加用すると汚れが発生するので、サクランボの近接園、無袋栽培のモモでは散布時期に注意する。
◎クプロシールドの連続散布は控える。
複数回散布する場合は、慣行の防除を間に挟むように。
◎気温、湿度の上昇に伴い、葉害のリスクが高まるので、夏季の散布は行わない。

追加散布用せん孔細菌病防除剤

分類	薬剤名	倍数	使用期限
抗生物質	アグレプト水和	1,500倍	60日前2回
	マイコシールド	2,000倍	21日前5回
	バリダシン液剤5	500倍	7日前4回
オキシリック酸	スターナ水和	1,000倍	7日前3回
	デランフロアブル	600倍	7日前4回
有機硫黄	チオノックフロアブル	500倍	7日前5回
	クプロシールド	1,000倍	-

使用時期・回数の変更に伴い使用の際には注意する。

灰星病防除剤の使い方

薬剤名	倍数	使用時期・回数	灰星病	ホモブシス腐敗病
オンリーワンフロアブル	2,000倍	前日/3	○	○
スコア顆粒水和剤	2,000倍	前日/3	○	
アミスター10フロアブル	1,000倍	前日/3	○	○
ナリアールWDG	2,000倍	前日/2	○	○
ロブラール水和剤	1,000～1,500倍	前日/3	○	○(1,000倍)
ミギワ20フロアブル	2,000～4,000倍	前日/3	○	○
パスワード顆粒水和剤	1,000～1,500倍	前日/2	○	
ベルコート水和剤	1,000～2,000倍	前日/3	○	○
ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	前日/3	○	○
スクレアフロアブル	2,000倍	前日/3	○	○
フルーツセイバー	1,500倍	前日/3	○	
バレード15フロアブル	2,000倍	前日/2	○	

注意事項 農薬の使用にあたっては必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載どおりに使用して下さい。
(山形県農業総合研究センター園芸試験場調査)

ももの生態調査

品 種	発 芽 期			展 葉 期			開 花 期									収 穫 期			備 考
	5年	4年	平年	5年	4年	平年	開 花 始 期			満 開 期			落 花 期						
							5年	4年	平年	5年	4年	平年	5年	4年	平年	5年	4年	平年	
あかつき	3/16	3/17	3/20	4/4	4/10	4/16	4/10	4/16	4/20	4/16	4/21	4/24	4/24	4/28	5/3	8/2	8/3	8/6	R4より調査樹変更
川中島白桃	3/16	3/17	3/20	4/7	4/12	4/16	4/10	4/18	4/20	4/17	4/22	4/24	4/28	4/30	5/3	8/28	8/29	8/29	